

両石地区まちづくり協議会 議事要旨

記

- 日時 平成 28 年 4 月 29 日（金）14 時 00 分～15 時 30 分
- 場所 釜石情報交流センター 釜石 PIT
- 次第

1. 挨拶
2. 本日の主旨とこれまでの経緯
3. 土地利用計画について
4. 工期延伸について
5. 事業実施スケジュール
6. 防潮堤整備の外洋について
7. 意見交換

- ① 工期について進捗状況をきちんと市役所は把握をしてきたのか？どこが原因で事業進捗に遅れが生じたのか、きちんと説明をしていただきたい。
- ② 跡地利用計画について以前、漁業関係者を集めて話を行ったが、その後どうなったのか？
- ③ 堤防と法面の境目のところが、今にも崩れそうな状況となっている。大雨により崩れる危険性があるため、早く直していただきたい。

- ①各関係事業者との協議を図りながら事業を進めてきたが、盛土に伴う段階的な施工に際して、電柱移設時期に若干のズレが生じたことなどが要因となり遅れが生じました。ほかには、支障物件により盛土施工範囲が限られていたため、工事進捗がなかなか図れなかったことが原因となっております。
- ②跡地利用に関しては、今まで東部漁協さんや両石地区の方々からご意見を頂いて、どのように利用していくか聞き取りを行っているところです。今後はワークショップ等を開催し、進めて行きたいと思っております。
- ③法面の崩壊する危険性がある箇所を確認し、市と県にて協議を図り対応していきたいと思っております。

遅れる要因はいろいろあると思うが、最もネックになっている要因をきちんと把握しなければ、他の地区においても両石地区のように遅れが生じてしまう。市として進捗状況をきちんと把握し、遅れが生じないように指摘しながら進めてきたのか？

→ (市長回答): 各関係事業者がそれぞれの工事を行っております。例えば、道路の切り替えを行う場合、切り替えに伴い電柱移設が必要となります。道路が先に完成したとしても電柱が完成しなければ遅れが生じます。1つ1つの工事が色々な組み合わせで進められていますが、工事工程の組み合わせがうまく行かなかったことにより、現在の状況となりました。

これからは支障物件が無くなり、どんどん工事が進められる状況になりましたので、今までの反省を踏まえて事業を管理していくとともに、2ヶ月に1回ぐらいきちんと皆様にお示しできるようにして行きたいと思っております。

仮設住宅の間取りは決められたものになっているが、仮設住宅に5年間もいると荷物などが徐々に増えていく。基本的に空いている仮設住宅も多くなっているので、優先して貸出ししてもらいたい。

→ 荷物が多くてお困りの方につきましては、一時的に荷物を預かることで対応しています。今後、仮設住宅を集約していかなければならないため、これまでどおりの貸出基準にご理解願います。

① 仮設住宅に収まらない荷物を一時的にお預かりしますと言う話をされたが、1日1日の生活に必要なものである。仮設住宅の広いところが空いているのであれば、家賃を少しでも支払うので、希望者がいるのであれば引越してできるよう検討していただきたい。

② 冒頭の挨拶の中で、今年度4月に地区担当者が代わったと紹介されたが、新しい人に引継ぐことになると、そこでまた遅れが生じることになると思う。できれば、事業完了まで担当者を代えないでほしい。

③ 土地利用計画の説明にて、商業施設が無くなると説明があったが、両石町にとって大きなダメージになると思う。車の運転などが行えない方もいるので、しっかりと商業施設のことも考えてほしい。

→ ①仮設住宅の貸出しの件については、実態把握を行い、ご相談したいと思っております。

→ ②釜石市の職員体制についてですが、現在、復興事業に携わっている半数程度の方が他の自治体からお手伝いに来ていただいております。両石地区の担当につきましても、他の自治体からの派遣で来ていただいておりますが、すべてを任せているわけではなく、釜石市の職員も含め、責任を持って両石地区の工事を対応しております。

→ ③商業施設については、震災以前に両石地区でお店をしていた方々に聞き取りを行ったところ、復興した後、またお店をやりたいと言う人がおりませんでした。そのため、予算要望を図るための協議において、事業費を頂くことができなくな

ったため、土地利用計画の変更を余儀なくされました。

しかし、造成地において店舗併用という形で再建していただくことができると
思います。

商業施設を計画していたところは、盛土を行い、新たに何か計画するのか？

→ 以前までの計画では、道路と平らになる予定となっておりましたが、盛土を行う
予算がつかないため、国道から 3m 程度高低差ができます。

水海地区の仮置場と他地区からの盛土材搬入により、マイナス 2 ヶ月の工期短縮とな
っているが、盛土材は間に合うのか？また、工期短縮の要因を増やし、遅れを取り戻
すことはできないか？

→ 盛土材については足りております。今後、支障物件が無くなったということで、
工程の見直しを図り、一日でも早く事業完了できるよう調整していきます。

商業施設を計画していたところで、盛土を行わないという話があったが、津波により
畑がほとんど無くなったので、家庭菜園ができるように盛土をしていただければ助か
る。

→ 盛土は行いませんが、平らな部分がありますし、国道からの通路を設けることを
考えております。今後、皆様と土地利用について協議を図りながら考えていきたく
と思います。

平面図を見てもどのようになるのかイメージできない。工事現場の中を見せていただ
く機会を設けていただきたい。

→ 現場にて工事説明会を開催できるよう検討したいと思います。その際は、皆様にご
案内いたします。

宅地の引渡し完了するのが平成 30 年 4 月ということだが、住宅再建に伴う建築許可
申請などが円滑に行えるよう、優遇してもらうことは可能か？もしくは、宅地の位置
を提示していただけると助かる。

→ 両石地区では区画割りがまだ決まっておりません。今後、どこの場所に行くか決
めていくこととなります。

宅地の引渡しスケジュールについてですが、宅地部分の造成が完了したのち、ま
だ周辺の道路に水道管などが入っていない段階からでも、建物が建てられるよう、
宅地の部分引渡しを検討しております。そうなれば、道路に水道管が入ってから
建築するよりも、早く建物を建てるのが可能となります。

何年か前から再建数が 70 世帯となっているが、大体の世帯は他地区に移っている。世

帯数が減っているのであれば、JR 山田線より西側の宅地を整備する必要性はないと思う。また、震災直後に現在、桑ノ浜に行く道路を工事している付近を平らにしたらどうかと提案したことがある。当初は、岩盤で全然できないという話だったが、今行っている道路工事を見ると、岩盤らしいものがない。40 から 50 世帯ぐらいできる面積があるのに地盤調査も行わないで市は判断を行った。今思えば、遅れる 1 つの要因になったと思う。

→ 現在把握している自力再建戸数は 70 戸となっており、その戸数をもとに事業を進めてきたところです。JR 山田線より西側の宅地については、宅地を所有されている方が以前、JR 山田線の下にある隧道を通っていました。復興事業に伴い隧道が通れなくなるため、機能補償として道路を整備させていただきます。区画割りについては調整を図り、最終的な戸数が確定することになります。よって、現時点においては、70 戸確保することが必要であるということで事業を進めております。

(市長) : 本日は、いろいろとご意見をいただきましたが、本当に申し訳ございません。スケジュール通り工事が進むよう、今後も頑張っていきたいと思っております。

何点かお話がありましたので、それについてお話させていただきたいと思っております。

まず 1 つ目は、現場の様子を見ながらどのように両石が変わっていくのか見たいというお話がありましたが、地区担当からもそういう機会を設けたいという話がありました。これについては、ぜひ実現させていただきたいと思っております。これからもそのようなご意見をどんどん出していただければと思います。

2 つ目は、仮設住宅の貸出しのお話ですが、近々仮設住宅の理事会があり、自治会の会長さんや役員の方々が一堂に会しまして、お話をする機会があります。5 月中に開催すると思っておりますので、今回のお話をこちらの方から出させていただきたいと思っております。現時点においては、非常に厳しい状況です。しかしながら、このような状況がこれからも出てきますので、可能性について考えていかなければならないと思っております。ひとつ我々の宿題とさせていただければと思います。

3 つ目は、跡地利用についてですが、水産関連の置き場や家庭菜園などいろいろな要望がありましたが、実はなかなかそこまで手が回らなく、他の地区も思うように進まないところがあります。両石地区はまとまった跡地ができますので、いろいろと利用しやすいと思いますが、他の地区は私有地と民有地が混在している状況になっており、どのように活用するか民有地を所有される方のご意見を聞かなければならない状況になっており大変です。これから順次、まちづくり協議会や地権者連絡会の役員会の皆様とも案を出させていただいて、またそれを皆様にお諮りするという形で提示して行きたいと思っております。

このように何点かお話がありましたが、工事工程の遅れとなる大きな要因はなくなりました。そのため、これからは 1 日でも早く工事が進められるよう、全力を尽くして邁進していきたいと思っております。2 ヶ月に 1 度ほど進捗状況を皆様にお知らせするような

会を設けたいと思います。もちろん 2 ヶ月ごとに皆様が集まることは大変かと思いますが、何か皆様にお知らせをするような事態が発生した場合は、2 ヶ月ごとに説明会を設けていきたいと思いますので、ご理解を頂きたいと思います。

皆様には大変つらい中での生活をしていることについては、重々承知しておりますので、何とか皆様の期待に応じられるように全力を尽くさせていただきますので、どうぞよろしくお願い申し上げたいと思います。

本日は、長時間にわたりましていろいろとご意見を頂きました。誠にありがとうございました。今後ともよろしくお願いいたします。

(閉会 15 : 30)

以上